

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」神辺校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数)	41
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・指導員全員で、個々の支援内容や活動プログラムの理解と共有を行っている。	・支援の打合せ、振り返りは毎日必ず行い全員で共有して検討している。 ・指導員2～3名体制の担当で行っている。	・個々の職員の専門性を最大限に活かした支援内容やプログラムを作成し、自立に向けての取り組みを行っている。
2	・子ども達の本質的な課題を多角的視点から検討共有し、支援に活かしている。	・指導員間でお互いを認め合い、共有しあいながらスキルを高めあっている。個々の支援内容や、関わり方など常に検討し合い、職員間で積極的に取り組んでいる。	・個々の支援の質やスキルをさらに上げていき、日々療育についての研究や学習に取り組んでいく。また、習得した内容はアウトプットするなどし、全員で共有して学び続ける事を行っている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域や病院、関係機関及び保護者との連携の不十分さ。	・連携環境の設定の不十分。 ・連携方法や連携後の支援への活かし方の検討。 ・事業所としての意識づけの不十分さ。 ・支援の内容や目的、ねらいを言語化することの難しさ。	・積極的な連携の促しと、連携目的を明確にすることで支援に活かせるように取り組む。 ・事業所として、職員への意識づけと環境の設定を行っていく。 ・「きらり」としての支援内容の具体的な提示の方法、分かりやすく伝える事の必要性の理解と、伝え方のスキルの向上をおこなっていく。
2	・事業所内の行事や研修、訓練等の周知の不十分さ。	・保護者の方や外部に向けての周知の不十分さ。 ・発信方法や開示の不十分さ。 ・事業所としての意識づけの不十分さ。	・「ホームページ・SNS」等で研修や行事等の発信を毎月行っていけるよう環境や体制を整え、保護者の皆様にも直接お伝えする等周知方法を検討する。 ・事業所として、地域や保護者の方の理解を深めることの重要性を把握し、地域を意識して行動する。
3	・支援内容や目標、ねらいの言語化。 ・社会参加に向けての支援のスキルや知識の不十分さ。	・相手に伝える事のスキルの不足。 ・支援の内容や目的、ねらい、将来を見据えての取り組みなどを言語化することのスキル不足。 ・社会参加する事のイメージ不足や将来を見据えて支援を行う事のイメージの不十分さ。	・目的やねらいなどを明確に保護者様に伝える事の重要性の意識づけをおこなう。 ・事業所内での勉強会などでスキルの向上に努める。 ・対人援助職の意識を定着させる。 ・指導員の自己理解を促し個々の特性や環境に応じた子ども達を見る視点を養う事をおこなっていく。

公表日 2026 年 2 月 14 日

41

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	1	0	0	・広く良いと思います。 ・バーションがあって、それぞれの空間で活動できているように思えます。 ・良いからばかりで、支援の内容もわかりやすいです。 ・いつも同じ場所できているので、安心して学習できています。	個々の活動に合わせて臨機応変に対応しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	37	1	0	3	・問題ないと思います。 ・担当の先生がお休みでも代わりの先生もいらっしゃるので、安心できる人数だと思います。	指導員2〜3名体制をとっています。基本的には、全職員が対応できるよう連携共有を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	6	1	0	・仕切りがあるので勉強しやすいと思います。 ・大丈夫と思います。	個々の特性や活動内容にあわせて対応をおこなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	4	1	1	・同じ時間利用している子どもの声や指導の声が聞こえて、集中しづらいと言っている。 ・大丈夫と思います。 ・清潔感があり、いつも安心して送り送れます。	安心安全に過ごせるよう尽力してまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	4	0	0	その子に合わせてあると思います。 ・子どもの特徴をわかって対応してくれているので、指導のフリーズする頻度がなくなった。 ・他の対応は手探りや、先達をまねてやることで習得が速くなった。 ・子どもの成長をしっかりと観察し、自分たちの考えを表現して意見を述べあえる場も設けられています。また、習得していることや学習の進捗に即して子どもに対応している点があるので大変助けてくれます。 ・普段からよく話を聞いているので、安心して話を聞けることがある。 ・家族と一緒に学習活動がより進んでいるように感じました。ありがとうございました。	個々のお子様の特性に応じたより質の高い支援を目指して尽力していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	2	0	4	良いと思います。	支援内容の精査を行いながら取り組んでいます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37	4	0	0	・良く理解されて下さっていると思います。 ・支援計画に沿った対応で、毎回の目的を持った対応を下さる。 ・子どもの思いと私たち保護者の思いをしっかりと汲み取って支援計画を提案してくださいます。 ・子どもの性格や、適切な数え方、学習の段階感をよく理解してもらっています。数え方が合っているのか、子どもは嫌がらずに通っています。	様々な視点からお子様をサポートできるよう全職員で分析、共有を行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	4	0	2	良いと思います。	具体性、多様性を意識し、将来の社会参加を見据えた支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40	1	0	0	・良いと思います。 ・子どものペースに合わせて進めてくださるので安心してお任せしています。	常に支援計画を意識した内容で取り組んでいます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	5	0	5	・状態に合わせて良く考えて下さっていると思います。 ・成長するにつれて、苦手な部分や得意になる部分が変わってくるので支援計画も変えてくださいます。 ・テスト前や、どうしても分からない単元があった時には臨機応変に対応してくださっています。	職員全員で活動プログラムの検討、共有、振り返りを行っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	7	15	13	大丈夫と思います。	交流できる機会を持てるよう取り組んでいます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	1	0	0	・大丈夫です。 ・控えをもらった。 ・しっかりと丁寧に説明いただいています。	ご契約時に、説明を行っています。ご質問等はいつでも承り対応をさせていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	0	0	0	大丈夫です。	説明をおこない、支援の方向性についてお話をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	6	0	5	・大丈夫と思います。 ・私は仕事のため参加できませんが、保護者向けのイベントが開催されています。	必要に応じて行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	38	3	0	0	・良く話を聞いて下さい。 ・活動の終わりに毎回、その日の内容について共有してもらえる(お話しいただく)時間があるので安心です。	意識してお話をさせていただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	4	0	0	・良く話を聞いて下さい。 ・心配ごとや悩みなども気軽に話すことができるので、色々とお話をいただいております。 ・最近、上の子中心になっていた。把握していない現状。	必要に応じて行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	3	1	2	大丈夫と思います。	対人援助職として全職員に意識づけを行い支援を行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	20	8	2	11	・保護者支援はあるが、きょうだい児への支援はない。 ・話をよく聞いて下さい。	ご家族まるごとのサポートをより意識して支援をおこなっていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	3	0	4	良いと思います。	迅速かつ丁寧に対応することを心掛けています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	4	0	2	大丈夫と思います。	丁寧に対応することを意識しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	10	1	11	・大丈夫と思います。 ・毎回終了時にどんなことをしたのか説明があります。	チラシ・ホームページ・SNS等での発信、ご利用時は、支援内容等のフィードバックをおこなっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	1	0	4	・大丈夫と思います。	十分に留意して取り組んでいます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	4	1	10	・大丈夫と思います。 ・利用するにあたって説明はいただきましたが、訓練を実施されているかは、分かりません。	訓練実施や研修等の情報共有の周知を十分におこなって行きます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	8	1	17	大丈夫と思います。	必要な訓練や研修等は常におこなっています。周知を十分おこなってまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	6	0	5	大丈夫と思います。	安心安全に過ごせるよう研修・訓練は徹底しておこなっております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	4	0	16	・利用時に熱が出てしまった時があり、すぐにご連絡いただきました。 ・大丈夫と思います。	迅速に誠実に対応することを意識しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	2	2	0	・とても神経質な子どもですが、毎週安心して通っています。東條や学校の先生以外の大人と話をすることがほとんどなかったため、他の大人とプライベートな話をする経験に繋がる機会があり、ありがたいです。 ・外からの声がガラス張りで見えて、交通量も多い所なので、プライバシーが守られていないので、対策してほしい。	安心・安全な場所を意識して今後も取り組んでいきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	15	1	2	・大丈夫です。 ・きらりに通っていることが自信につながっています。 ・毎週楽しみに通っています。	楽しく安心して過ごせるよう取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	4	0	0	・皆さんがいつも笑顔でお迎えしてくれるので、本人も安心して通わせてもらっています。 ・良いと思います。	すべての方に安心・安全な場所であるよう、いつでも相談できる場所であるよう尽力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」神辺校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環 境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切に行っている。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		適切に行っている。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		適宜指導員が補助をおこなうなどしている。	建物の構造上段差はある。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を全員でおこない、道具等は消毒を随時行っている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じていつでも使用できる。状態に応じて対応をしている。					
業 務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		目標は随時確認、共有を行い、振り返りも随時行っている。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日頃から保護者様の評価等を伺えるようフィードバック等の際に意識してお話をさせていただいている。内容等は全員で共有し改善をおこなっている。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		随時、意見等を把握できる環境であり、毎日行っている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部の関係機関の方の意見等を伺ったり、相談をおこなうなどして多角的に捉えることが出来るよう意識している。	第三者による外部評価は行っていない。必要性は感じている。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		積極的に外部研修に参加し、事業所内においても職員が自発的に研修をおこなうなど質の向上に努めている。	他事業所等との研修をおこなえる機会も必要である。地域での質の向上を目指していきたい。				
適 切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		徹底してアセスメントを行っている。職員全員で共有、検討を行っている。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員全員で多面的に検討を行っている。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員全員で共有、検討、確認を毎日行っている。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		随時確認して共有している。	事業所として全職員のレベルの高い視点、資質の獲得のための教育の徹底を行っていく必要もある。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		適切に設定を行っている。全職員での検討もおこない徹底している。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全員で共有、検討を行いチームとして行っている。					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		専門性を活かして様々な視点から検討し作成している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		おこなっている。双方の活動から課題を見極め普段の支援に活かしている。	集団活動や個別の活動をふまえた上で、どのように普段の支援に活かすか、検討、実践を継続して行う必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		チームとして打合せを行っている。全員で、その日のご利用者様の支援の内容を把握できるよう共有を行っている。	チームとしての職員間での意識の徹底を継続して行っていく事も必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日、もしくは翌日の朝のミーティングにて必ず全員共有を行っている。	チームとしての職員間での意識の徹底を継続して行っていく事も必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録の徹底、検証・改善は徹底して行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		意識して行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択できる機会を設け、自分で考えて自分で選択することを行えるよう全職員で意識して関わっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を行っている。	地域での連携がまだ不十分であると感じている。関係機関との定期での連携を行えるよう動いていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて行っている。	学校との定期での連携が必要である。お互いに役割を意識することが必要である。働きかけていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じておこなっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者と連携を取りながらおこなっていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		行うようにしている。（ご利用児童のみの場合が多い）	ご利用児童以外でもアドバイスや相談がほしい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		時間的に合わない事も多く必要に応じて活動の機会を設けたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日のフィードバック等でおこなっている。また全職員で職員共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ママカフェを開催したり、個別に必要なに応じて行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		随時行っている。また、別途時間も設けて相互に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		行えている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		積極的にを行っている。ご利用されていない方の保護者様でも相談に応じている。	地域の保護者様の相談できる場所としての周知を広く行っていく必要がある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		ママカフェ等を開催し、交流する機会を設けている。きょうだいの方も交流する機会を設けている。どなたでも、受け入れている。	地域の相談場所、居場所、よりどころとなれるよう尽力をおこなっていく。幅広く周知をおこなって行くことが必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員全員で共有して迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		きりり通信、HP、SNS等で発信をおこなっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		随時及びママカフェやきりり広場などで、どなたでも参加していただき、知っていただけるよう取り組んでいる。	周知活動の検討が必要。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ご契約時の説明を行い、また、いつでもご覧いただけるよう設置している。訓練も実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		研修・訓練は随時行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		確認をおこなっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はないが、必要に応じて対応する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画の作成・研修・訓練を随時行い、全職員、常に安全を第一に考えて支援をおこなっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご契約時、及び随時周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全員で共有して検討・改善を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修は随時行っている。日頃から全職員で意識して関わっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		記載している。	